

# 社会人有望選手リスト<145名>

●リスト作成

【野球太郎】有望選手リスト作成委員会

※項目は左より、チーム名、ポジション、名前、出身校、年齢、身長、体重、投打、評価 (P183参照)、寸評の順になっています。

北海道地区									
室蘭シヤークス	投手	今崎洋次郎	関東学院大	25	184	83	左左	○	中学の怪童が社会人3年目。早熟スライダース左輪大輪蹴りか。角度絶妙、実戦力勝負の年
東北地区									
JR 東日本東北	投手	西村 祐太	桐蔭横浜大	28	182	79	左左	◎	相手の頭のない1球種で簡単にストライクを取り、同じ球種でも強弱をつけて使い分ける
	中堅手	田代 大智	大曲工大	21	175	80	右右	△	運動能力の高さは1球打者向き。ちょっと外回りするスイング軌道が変われば大化けも
きやらか銀行	投手	小島 康明	東京農業大	25	178	80	右右	△	股関節からスバッと足を上げ、良質な138キロと落ちるチェンジアップを外内に配る
		宮武 大地	国士館大	24	188	80	右右	△	未完の本格流。体ができてのは2年後だが、腕のしなやかさを活かしてスルーボールを
	捕手	安成祐太郎	東日本国際大	24	168	75	右右	△	本物の恋女房。エース小島康明と息を合わせて、メリハリをつけながら好投を引き出す
七十七銀行	右翼手	野村 彰宏	八戸学院大	23	180	80	右右	△	三拍子揃って、数字以上に大きく見える。俊足を生かすために、打席での粘りをもっと
日本製紙石巻	投手	齊藤 侑馬	武蔵大	29	179	79	左左	△	昨日今日の作られた変則左腕じゃない。しっかりと乗り込んで、184.4mを逆方向に
北信越地区									
フェデックス	投手	久保田啓介	杏林大	23	187	85	右右	△	大胆なテークバックに、サイドなのにフォークが決め球という個性派。唯一無二の存在
北関東地区									
SUBARU	投手	角田 皆斗	専修大	24	179	82	右右	△	チーム事情で先発に回り、チェンジアップで寝息も覚めたが、フォークで抑え役が適任
		高橋 史朗	立正大	24	182	82	右右	△	投手らしい良い手足。気迫に満ちた真つたるい球がチームの心臓。外のカーブで見逃し三振も
	三塁手	野平 大樹	樹徳大	21	182	82	右右	△	体が大きくなり、硬さも目立ってきたが、強打でガツンと飛ばせば、タイミングの良い
新日鐵住金鹿島	投手	玉置 隆	国学院大	31	180	82	右右	○	落差の大きいチェンジアップを武器に粘投。被安打10の完封勝利でチームを全国へ導く
日立製作所	投手	山本 淳	国際武道大	23	188	84	右右	○	外国人のようなエンジョンの大きさが30代半ばに達している制御可能に。エースと並ぶ
		鈴木 康平	国際武道大	23	186	78	右右	○	元々で肩から投げ下ろす150キロは空振りを取れる。二塁牽制投げる以外の動きの精度も
	二塁手	野村 彰宏	東海大	24	177	78	左左	△	兄・広嶋 (広) とは好対照の「きれいな野球」が持ち味だが、プレーに強さが出てきた
	右翼手	雷野 剛士	明治大	24	171	80	右左	△	併殺ににくい二塁打メーカーを4番に抜くことで、日立自慢の重畳打線に厚みが増す
南関東地区									
Honda	投手	永野 将司	九州国際大	24	181	82	左左	○	数字が出る左は見栄えがいい。絶対的な変化球をひとつと、年間通して働ける頑丈さも
		寺良 諒	東京農業大	23	180	82	右左	○	力まずに低めに集める丁寧な投球。キレのない140キロ前後とチェンジアップで試合作る
	捕手	辻野 雄大	白鷲大	24	179	80	右右	△	外野でもできる俊足強打強打のはずが、マスクを被ると特徴がなくなる。捕球の丁寧さは○
	中堅手	鈴木 康平	国学院大	23	175	75	左左	△	太線のシルトで4番守録の跡がはっきり。何回にも振り返ってチェンジアップを作る投球魂
JFE 東日本	捕手	川端 晃希	同志社大	24	177	80	右右	△	オープン戦での4番捕手の起用は期待の表れ。打撃が若返りで今年も今年の要になる
	二塁手	生多 良介	東北福祉大	28	169	69	左左	△	地味に成長を続け、敵陣の目の下で頼れる存在に。四球も取り、こころ一番に逆方向へ投打
	中堅手	豊原 北	上武大	24	175	73	右左	△	息を飲もうなスピード感。捕手としてはそこそこいいが、外野なら守守に快足がきまる
新報産経メディアテック	投手	渡辺 俊介	国学院大	41	178	72	右右	○	場の空気を支配する連続スライダー。右打者も左打者も、100キロ前後で泳がせてしまっ
		新ヶ丘一樹	国学院大	24	174	72	左左	△	細い体ながらもついでに、140キロ前後でもキレのある球。速度と組まれば左打者には脅威
		川端 雄太	東海大望洋	20	177	77	右右	△	見るからに「いい投手」でも、今は「いい球を投げるだけ」の存在。根負けしない強さを
		山田 雅樹	北照	20	175	78	左左	△	トルネード気味に140キロ中盤を連発。おなじ投法以外の存在のあり方を研究しよう
	捕手	土門 愛大	北照	21	178	83	右右	△	シフトノックでバタバタ。振も鋭いけど、芯を食えば膝々スタンディング。長距離離れの卵
日本通運	三塁手	大川 昇吾	上武大	25	173	73	右左	△	初球から迷わず振れるようになった。小さな変化で振り回されてる攻めにも対応できねば
	右翼手	北川 利行	創価大	24	178	85	右右	○	右方向への打球の伸びはプロでも稀有な存在。好球必打で秋以降の徹底ムネを跳ね返せ
東京地区									
JR 東日本	投手	板東 湧信	埼玉	22	181	76	右右	△	コンパクトなテークバックから正統派のカーブ。球速以上のキレはあるが、力感をさらに
		田嶋 大樹	佐野日大	21	182	75	左左	○	コンマ何秒かの持ち待ちで、真つつ狙いのベテランをクロスファインナーでどん詰りに
	一塁手	丸子 達也	早稲田大	24	187	103	左左	△	難しい球を打つタイプではない。でも長距離離れがない。好球必打で車を残す中堅打者
	三塁手	辻辺 和哉	専修大	23	176	85	右右	△	4番三塁手を期待されたが、1年目は不発に。強打者のオーラを失わずに成長してくれたら
	遊撃手	瀧本 亮	静岡商大	21	179	87	右右	△	元投手だけに肩は文句なし。洗練されたショートが多い社会人なら、泥臭さも武器になる
	左翼手	松本 晃	横浜商科大	32	180	85	右右	○	ストロートに滅法強い長距離離れ。甘い球は逃さずフルスイング。一振りして打を呼び込む
NTT 東日本	投手	西村 天啓	明治大	24	176	92	右右	△	外国人のような馬力があり、クローザーに。スライダー、フォークより一層のキレ味を
		渡邊 啓太	神奈川工科大	24	177	70	右右	△	脅威の柔軟性が球持ちのよさの源。右手で背中をかくようなテークバックでも再現性あり
	遊撃手	黒川 周平	明治大	25	169	69	左左	△	見違えるほどの振りが強くなる。あとは体の強さを三遊間からの送球に反映させるだけ
	左翼手	目黒 大樹	上武大	31	165	84	右左	△	9番目黒は打線がなるが、球味。球威を利用して逆方向に弾き返す。即座で好球になる
驚宮製作所	投手	齋藤 英輔	青山学院大	26	180	81	右右	△	大学時代の球威が戻りつつある。突然の不用意な四球もつたない。三者凡退で圧巻
		野口 亮太	仙台大	25	164	65	左左	△	インステップから小気味よい投球。遅い遅いからストロークを投げられるのは才能
セガサミー	捕手	喜多 亮太	敦賀気比	21	176	70	右右	△	先行投資に今年こそ結果で応えたい。ソツな守れるが、自分の色と読率力が見えない
	遊撃手	根岸晃太郎	日本大	24	180	78	右右	△	入社即4番遊撃手の大抜擢も尻すぼみに。体の強さは感じられるが、攻守に硬さが残る
	右翼手	本宮 諒	筑波大	25	176	88	左左	△	唯一にして最大の敵が負い。自分自身を縛りつけなければ、シャープな打は社会人屈指
東京ガス	投手	空谷 陽介	筑波大	26	172	75	右左	△	1年にしてより大人の球を連んで成長。小柄でもたもたの角度抜群で、徹して低めに集める
		石田 光宏	関西大	23	181	85	右右	○	微妙に動く140キロ中盤に、動きながら落ちるツーシームで打線満点の好投球。守りも○
	捕手	山内 佑規	明治大	23	172	79	右右	○	思いやりの好捕手。切り売りにできる武器はなくても、若い投手陣の力引き出す術を熟知
	一塁手	黒田 雅和	関西大	33	175	82	右右	○	2死二塁、2死三塁、打つしかない場面で確実な一撃。甘い1塁球は狙いずまて捕獲しに
	遊撃手	山口 悠輝	PL学園大	22	185	85	右右	○	試合の流れを認める若者。4番遊撃手の重責を年間通してまっとうできれば、即戦力に
	中堅手	白田 智也	東海大	24	178	78	右右	△	代走、守備側でもセンスが光る。社会人でも東海大相模時代の最高、高遠カットはスリッポンのような威力
明治安田生命	投手	三宮 舜	東海義塾大	24	173	73	左左	△	キレと度胸に多量な才能。試合全体で見ているのだから、ストロートの距離だけは傑作
	左翼手	加藤 幸紀	東海大	32	178	86	右右	○	独自のメカニズムで打線連発。体から離れたヘッドを居合斬りのように軌道にたはれ物
	右翼手	泉澤 涼太	中央大	24	184	82	右右	△	高い身体能力に読みが備わりつつある。根拠を持った一振りが増えれば、2年目の飛躍も
西関東地区									
JX-ENEOS	投手	柏原 史朗	同志社大	24	175	79	右右	△	高めに速く数字が出るのは稀光学園時代から。低めに生きた球を投げられるかがカギ
		齋藤 俊介	立正大	23	176	81	右右	○	全体的な底上げで、力で押されるエースに成長。高遠カットはスリッポンのような威力
		鈴木 健夫	木下建設総合	20	176	71	右左	△	両腕をクロスさせる剛則タイプが高卒1年目から大健闘。前線を送れる強み込みが魅力
	捕手	猪又 弘弘	青山学院大	24	177	83	右右	△	肩の強さは目立つ。投球が来た時の過剰なリアクションは注意。さりげなく受け止めて
	二塁手	若林 晃弘	法政大	24	180	81	右右	△	見るからにセンスよさげで能力は高い。ここから先に技術に意識を注ぎ込まれた圧倒的な数字を
	中堅手	百瀬 雅也	松商学園大	20	169	69	右左	△	代走で出てきたら要注目。初速の課題は、昨季限りでコーチ専任になった前田将希の再来
	右翼手	谷川 成也	東海大	24	183	93	右右	△	器用なタイプではないが、1つひとつ課題を潰し「解禁年」。一線級からの一発がある
東京近郊									
	投手	加嶋 宏毅	東海義塾大	23	178	76	左左	△	変化球でカウントを整え、強気の直球勝負。技巧流のようでは本筋志向で四球もめ
		善 武士	多摩大	21	178	74	右右	△	マウンド上で気をつけて、テンポよく投げられる。下半身の柔らかさからスルーボールも
	遊撃手	堀米 潤平	白鷲大	24	163	65	右左	○	遊撃守備だけでなく社会人の名人気にも匹敵。とにかくクラブ捌きが柔らく、口と口仲良し
三井物産パナソニック	投手	奥村政隆	中津商大	25	178	80	右右	△	立ち上がりには力強いボールが浴びる。エンジョンがきれいで150キロ超でわじわじわ
		三小田真一	文化大	25	172	75	左左	△	走者生してよくクイックを駆使。フォークを織り交ぜたタイミングを外す投球で捕手を誘
		大野 亨輔	専修大	24	177	75	右右	○	サイズとエンジョンが足りないので、勝つために必要なスキルをフル活用した本物の投手
	二塁手	久保 皓史	富士大	24	181	82	右左	△	強打の二塁手だから商品価値がある選手。勝負強さを伸ばし、打線にアドバンテージを

※一部ドラフト対象ではない選手も含まれていますが、「野球太郎」が「ぜひ、見てほしい」と思い掲載しています。

高校野球選手名鑑

大学野球選手名鑑

社会人野球選手名鑑

社会人野球選手名鑑